



第8回 子ども版「もったいない市」開催報告

2021年1月31日(日)9:30~11:20
入場者数 62名 (大人:42名、子ども:20名)

新しい生活様式を取り入れた開催となりました。ご寄付いただく商品は、事前に回収日(1/9(土)・10(日)、1/16(土)・17(日))を決めて行いました。お譲りする市は、4コース(①9:30~9:50/②10:00~10:20/③10:30~10:50/④11:00~11:20)に分けて完全予約制。定員 先着30名様(1組2名様)。展示商品については、各コース毎に準備。お待ちいただく場所についてもソーシャルディスタンスを守っていただきました。会場については、窓を開けて風通しの良い環境をつくりました。各ブース担当は、ボラクエ(中高生ボランティアスタッフ)が各ブースを担当しました。

実績 持込み量 約101.30kg 持帰り 54.5kg リユース(再使用)率は、約54%



待ちの列



おもちゃコーナー



絵本・児童書コーナー



子ども服コーナー



【参加者の声】 楽しかった。

【中学生の声】

- ・おもちゃ担当：種類ごとに分けると手に取ってもらえた。複数人が希望された商品は、じゃんけんで決めた。
- ・子ども服担当：人から人へ物が渡される時に立ち会えることが、嬉しいということに気づいた。
- ・子ども服担当：もったいない市を利用される人には、自分だけでなく知人などにも分けるなど、色々な人が参加することが分かった。

【高校生の声】

- ・おもちゃ担当：参加の子ども達が今、必要とされているおもちゃに偏りがあることが分かった。特に、教養を高める物や利便性が高いものが好まれた。
- ・絵本・児童書担当：部屋に置いてあるだけの本が、もったいない市で利用されればSDGsだと思った。
- ・子ども服担当：捨てるはずだった服をまた他に人に渡すのは、エコだと思った。服がもらわれると嬉しかった。

私も不要な洋服などがあったら誰かに譲りたい。

【参加者からの改善提案】

- ・開場時に走る人がいる。走らないようにする工夫。
- ・距離を保つと先に来た人が見ると、なかなか商品が見られない状況が続く。会場内も導線をつくって一方通行となるとよいと思った。
- ・人気の高い商品などは、個数制限を設ける。



スタッフ総勢 13名